

私たちの身近な「交通」

令和6年1月 芦屋市議会議会報告会資料
(建設公営企業常任委員会)



市内交通機関は充実しています(1)

①電車(阪急神戸本線、JR東海道本線、阪神本線)

令和3年度における1日平均利用者数(乗降客数)

* JR芦屋/44,346人

* 阪神芦屋/22,522人

* 阪急芦屋川/15,985人

* 阪神打出/12,496人

②バス(阪急バス、みなと観光バス、阪神バス)

阪急バスと、みなと観光バスの一部路線で70歳以上の方に高齢者バス運賃助成事業を実施

市内交通機関は充実しています(2)

③タクシー・マイカーや自転車

車の保有状況: 7割程度の世帯が自家用車を保有

一方、公共交通機関の空白地域も(三条町など)

* 公共交通の空白地域とは・・・

一定の距離に駅やバス停がない地域のこと

駅から500m、バス停から300mの範囲外を指す

主な交通課題について(1)

①高齢化により増加する交通弱者の移動手段の確保

- ・ 高齢者の運転免許証返納
- ・ 高齢社会に見合った交通サービス・移動支援

※「公共交通ネットワークについて(高松市)」への視察

- ・ 現在、高松市では路線バスの代替として、タクシーを利用した「バタクス」の運行を実証実験中である
- ・ デマンド交通とは、事前予約制の交通サービスのこと

主な交通課題について(2)

②自転車の安全利用の推進

本市における昨年の自転車事故は89件発生

うち、自転車対車両/75件、自転車対人/6件、
自転車対自転車/7件、自転車単独/1件

③安全な通行空間の整備(歩道切り下げ部のバリアフリー化)

・令和3年/42.4% ⇒ 令和9年度までに45%を目標

④ドライバー不足による公共交通の持続性の確保

- ・公共交通事業者の経営環境の悪化
- ・深刻化する人手不足

新たな交通手段への対応について



電動キックボード

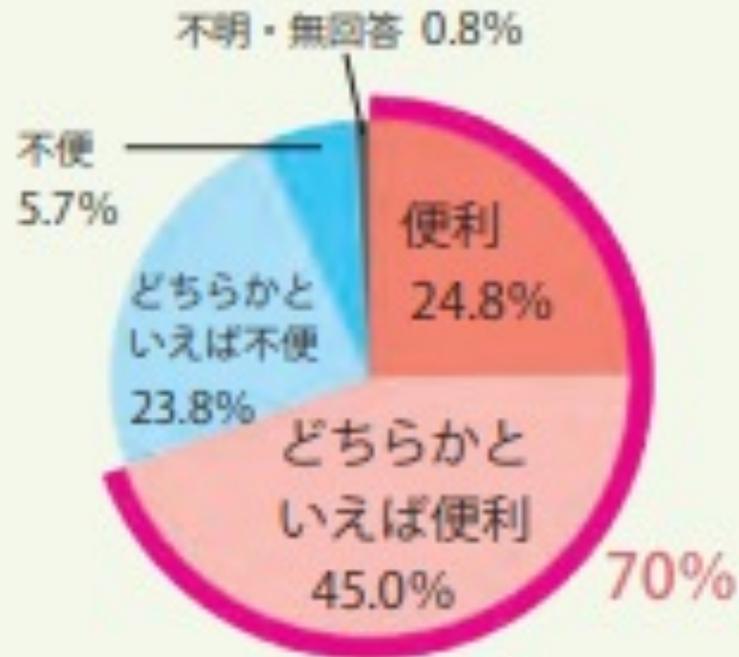
ライドシェア



市民アンケート調査による交通に対する市民意向

■市内の移動について

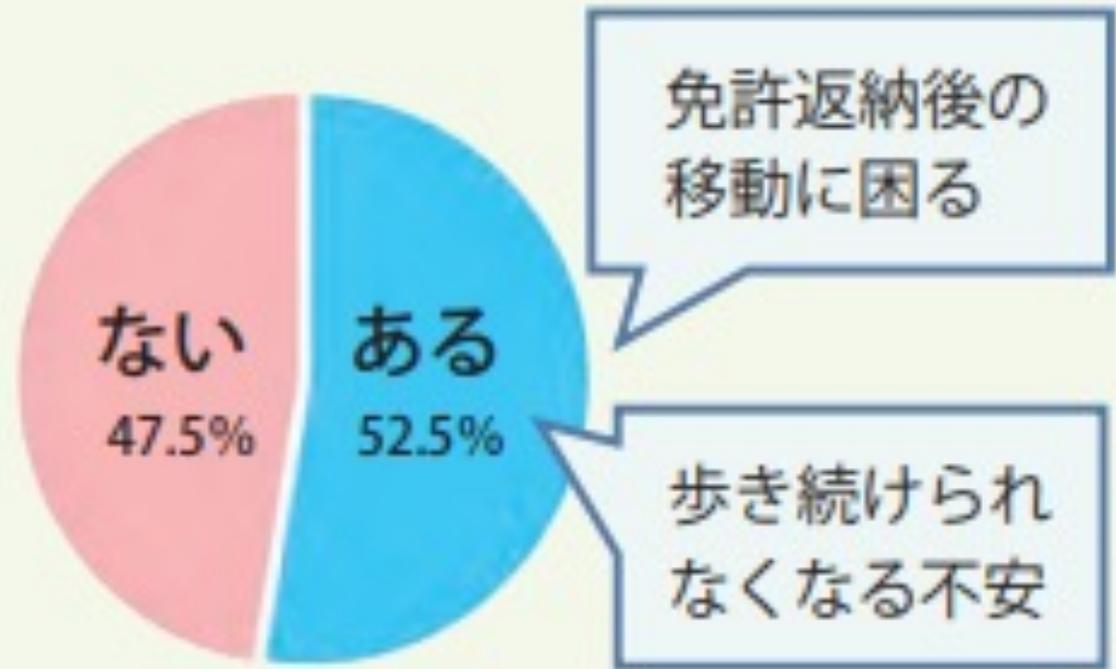
Q どのように感じていますか



【まちづくりについてのアンケート】
令和2年7月実施

■将来の移動について

Q 不安や困ることがありますか



【交通に関するアンケート】
令和4年12月実施

交通をめぐる新たな取り組み

- 自転車用ヘルメット着用の努力義務化（令和5年4月より）
兵庫県によるヘルメット購入応援事業が開始
- 電動キックボードの法改正
（令和5年7月、一般原付よりルール緩和）
- ライドシェア 令和6年4月に一部解禁



最後に・・・

公共交通の充実は、「安全・安心で快適に移動できるまちづくり」の実現に欠かすことのできない施策であり、良好な住宅地としての魅力を高めます。

今後も市民ニーズへの的確な対応が重要であり、そのためには民間事業者との協働が必要であると思われます。

* ご清聴ありがとうございます。